



## 第5回みねだ会館祭り開催

11月23日(日)

会館祭りに寄せて  
 実行委員長 寺本太郎  
 雲ひとつない晴天のもと、例年にも増してたくさんの方々にご来場いただき、盛況のうちに実施することが出来ました。  
 この祭りは「今年もやるぞ、みねだ衆」をキャッチフレーズに、皆で計画・実行した祭りでした。  
 皆様がそれぞれの持ち場でご尽力、ご活躍いただいた賜物と深く感謝しております。  
 一個人ではできないことも、ヤママイカの心意気で人が集まれば、わがふるさと嶺田を想う心と力が生まれることを実感いたしました。  
 来年の第6回会館祭りに向け、より一層親しまれ、愛される会館祭りとなりませう、実行委員一同で頑張りますので、ご協力をお願いいたします。



# トピックス

## 第一回防災研修会開催

自主防災会長・防災委員参加

十月二十日(月)、みねだ会館において、各自治会の自主防災会長・防災委員など34名が出席して研修会を開催した

みねだ地域づくり協議会安全・環境部会(池田健一会长)では、十月二十日(月)みねだ会館において、「第一回防災研修会」を開催した。

この研修会では、市役所安全課の職員二名を講師としてお願いし、災害時に、自主防災会がどのように対応すべきかを具体的に考える、イメージトレーニングゲーム【TEN(テン)】を、四グループに分かれて行った。

ゲームの流れは、①訓練上の役員、防災資器材の確認 □震度・日時・気象等の地震発生条件の決定、地震発生後 □自主防災組織の災害対策本部の設置 □訓練開始(課題・情報付与) ⑤グループ発表 □まとめ(質疑応答)



の順に進めた。  
各グループでは、人員配置・資器材配分、発生条件による対応に苦勞しながらも、本番を想定し、真剣に取り組んでいました。  
皆さん、お疲れ様でした。

## 浜岡原子力発電所見学



秋晴れの九月二十八日(日)安全・環境部会の企画により、「浜岡原子力発電所見学会」を、二十五名(男性十五名、女性十名)の参加者で実施した。三年前の福島第一原子力発電所の事故以来、安全対策工事(津波対策など)の現況はどうか、この目で見ても安心・安心を確認することを目的に行った。

発電所は、再稼働に向け三千億円ほどをかけ、防波壁設置など各種の安全向上対策工事を施工し、国の新規制基準に適合できるよう進めているとのことであった。

## 「地の神様」で

### 地域づくり

ふるさとの風習に「地の神様」がある。地の神様は、屋敷を守る神様で、屋敷の北西の方角から屋敷の中央または南に向けて祀る。ご先祖様が旅立たれて五十年経つと「地の神様」になって戻って来ると言われている。そのため、十二月十五日には新しい社とお皿を作り、お供え物をお上げる風習が続いている。

サポーターみねだ(佐藤正則代表)では、十一月十五日(土)、二十一名の参加者で藁の社やお皿を作り、一人暮らしの高齢者にも配布した。



## 年末の交通安全県民運動

～安全をつなげて広げて 事故ゼロへ～

平成26年12月15日(月)～平成26年12月31日(水)

☆ 高齢者と子供の交通事故防止

☆ 夕暮れ時から夜間の交通事故防止

～「自発光式反射材」の着用と夕暮れ時の「早めのライトオン」の励行～

☆ 飲酒運転の根絶

☆ 歩行者の交通事故防止(菊川警察署管内 重点事項)

## これからの行事予定(27年1月～3月)

12月 そば打ち体験

12月末 青少年健全育成(地元消防団との夜警)

1月18日 菊川市民健康駅伝競走大会

1月 福祉施設研修視察

1月 防災訓練報告会

2月 節分(豆まきと寸劇)

2月 福祉と地域社会講演

2月 みそ作り体験